

人間ドックのご案内

《人間ドックのすすめ》

高血圧、糖尿病、高脂血症などは生活習慣病と呼ばれ、多くは自覚症状のないまま進行しています。

人間ドックは、このような生活習慣病を早期に発見し、脳卒中や心筋梗塞など重大な合併症を予防すると共に、がんの早期発見を目的としています。

毎日を健康で生き生きとした生活を送るため、年1回の人間ドックをお勧めします。



《人間ドックコース別の受付時間及び料金について》

	受付時間	料 金
日帰り	8 : 30	36,830 円
脳ドック A	10 : 30	27,260 円
脳ドック B (MRI のみ)	10 : 30	14,500 円
日帰り+脳ドック	8 : 00	51,330 円

※尾道市国民健康保険をお持ちの方は、助成金制度があります（人間ドック：25,000 円、人間ドック+脳 MRI 検査：40,000 円）。

詳細は、尾道市保険年金課（電話：0848-38-9107）にお問い合わせください。

※日立造船健康保険組合被保険者と被扶養者（配偶者）の方は、健診料の 70%、3 万円を上限とする助成金制度（脳ドックも対象）がありますので、詳細は健康保険組合（06-6468-7550）にお問い合わせください。



《検査項目》

検査項目		日帰りドック	脳ドック A	脳ドック B (MRI のみ)
脳検査			頭部 MRI 頸部 MRI 認知症検査	頭部 MRI 頸部 MRI
身体測定	問診 身長 体重 血圧	○	○	○
	肥満度 腹囲	○		
尿潜血検査	糖 蛋白 ウロビリノーゲン 潜血 沈渣	○	○	
便検査	免疫便潜血反応(2 日法)	○		
貧血検査	白血球数 赤血球数 血色素 ヘマトクリット 血小板 血液像	○	○	
	GOT GPT γ-GTP 尿素窒素		○	
肝・腎機能検査	総蛋白 アルブミン A/G 比 総ビリルビン GOT GPT LDH γ-GTP 尿素窒素	○		
	尿酸 クレアチニン	○	○	
膵臓機能検査	血清アミラーゼ	○		
脂質検査	LDL コレステロール HDL コレステロール 中性脂肪	○	○	
糖尿病検査	血糖(空腹時)	○		
	HbA1c(NGSP)	○	○	
肝炎ウイルス	HBs 抗原 HCV 抗体	○		
腫瘍マーカー	CEA CA19-9	○		
心機能	心電図	○	○	
呼吸器	胸部 X-P		○	
	胸部 CT 肺機能検査	○		
消化器	胃・十二指腸 X 線(胃カメラに変更可能)	○		
	腹部 CT			
耳鼻科	オージオメーター	○		
眼科	視力	○		
歯科ケア	歯科検診と口腔ケア	○		

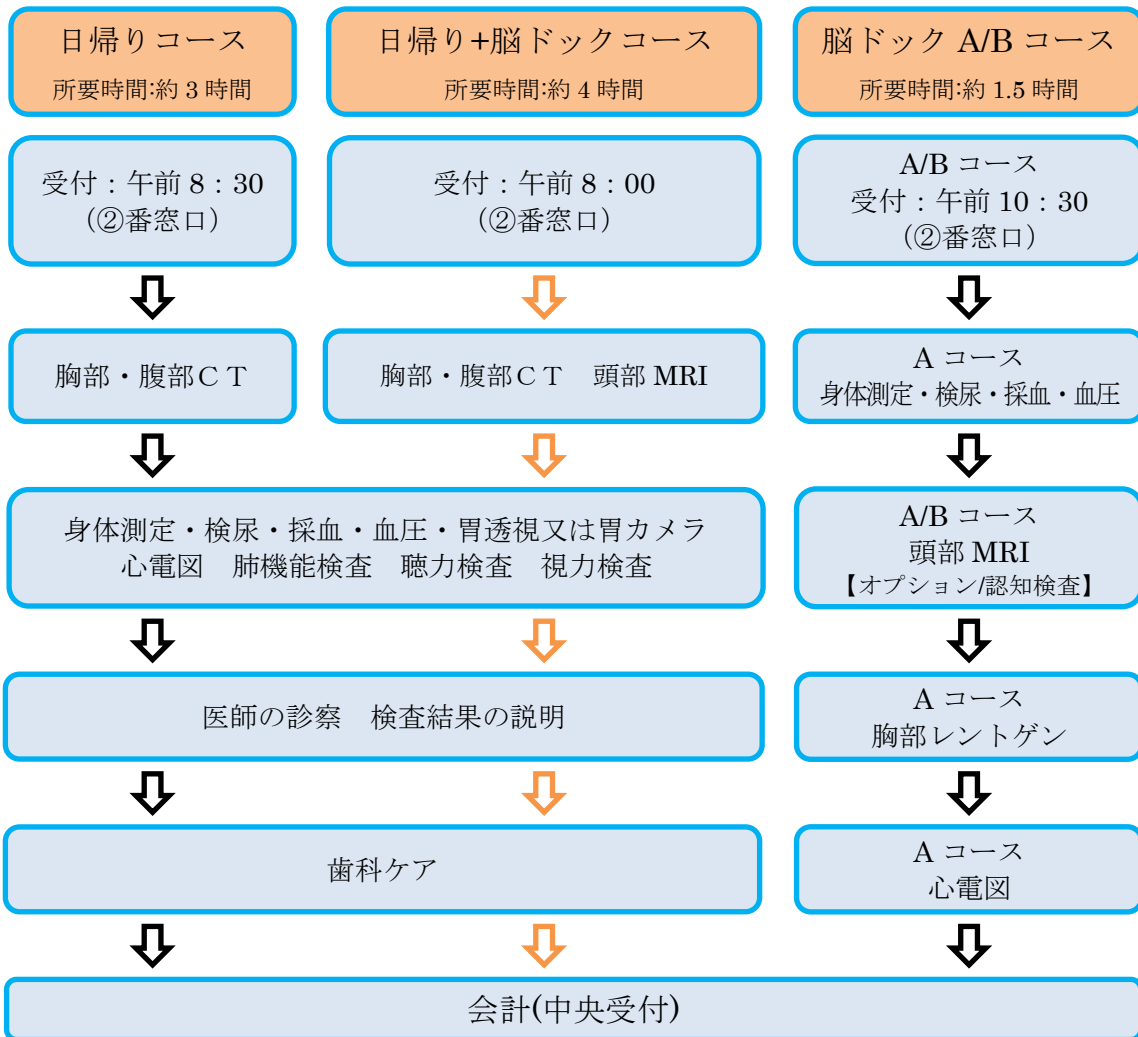
シーメンス製 MRI
1.5T(テスラ)使用

●日帰りと脳ドック(MRI のみ)の組み合わせも可能です。

【オプション検査項目】

動脈検査(動脈硬化の検査)	1,400 円	歯科ケア	1,000 円
内臓脂肪 CT 検査(腹部 CT 時)	2,160 円	血液型(ABO Rh)	2,600 円
慢性閉塞性肺疾患検査(胸部 CT 時)	2,160 円	PSA(前立腺がん検査)	1,400 円
認知症検査(脳ドック B 実施時)	3,000 円	骨密度(骨塩定量検査)	1,510 円

《人間ドックコース別流れ》



《当院人間ドックの特長》

○胸部 CT・腹部 CT を標準項目とする精密検査

〔 CT・MRI とともに検査結果は、高度な専門知識を持つ岡山大学放射線科医師と
当院医師によるダブルチェックで、精度の高い診断が出来る体制を整えています。〕

○脳ドック A は、MRI による認知症 (VSRAD) を標準セットとし、通常の MRI 撮影時間
プラス 10 分で脳萎縮の傾向・部位を評価可能します (対象 50 歳以上)。

○歯科医師による検診と、歯科衛生士による歯磨き指導

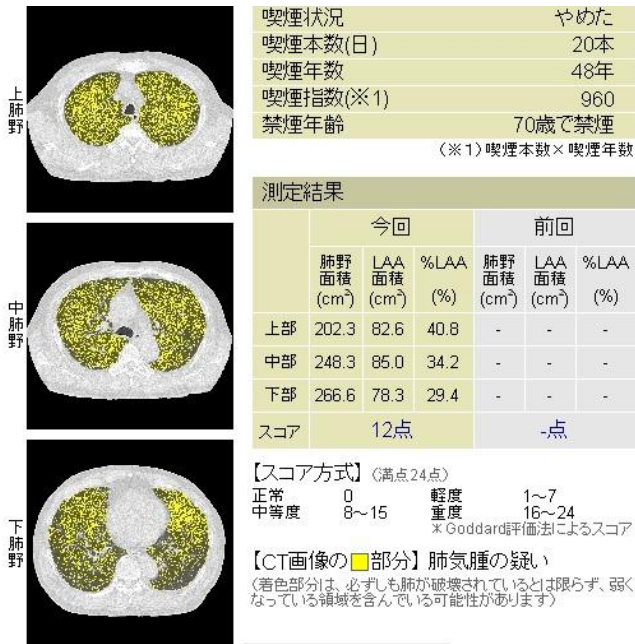
〔 生活習慣病同様、自覚症状のないまま進行している場合がありますので、
是非この機会に歯科ケアをご利用ください 〕

慢性閉塞性肺疾患検査

肺胞壁の破壊による低吸収領域（LAA）を測定し、COPD(慢性閉塞性疾患)の評価ができます。

《このような方お勧めします》

- 喫煙者又は喫煙歴 ○慢性の咳と痰
- 労作時の息切れ



肺気腫の方の画像例

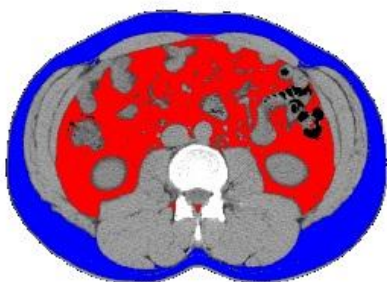
内臓脂肪 CT 検査

生活習慣病や冠動脈疾患などのリスクが高いとされる内臓脂肪型肥満の評価ができます。

《このような方にお勧めします》

- 内臓脂肪、皮下脂肪が気になる方
- 生活習慣病が気になる方

【腹側】



【凡例】 ■:皮下脂肪 ■:内臓脂肪 黒色:腸管ガス

内臓脂肪型肥満の方の画像例

認知症検査(VSRAD)

アルツハイマー型認知症（50%）とレビー小体型認知症（20%）は、早い時期に脳のある一部から委縮が起こることが知られています。

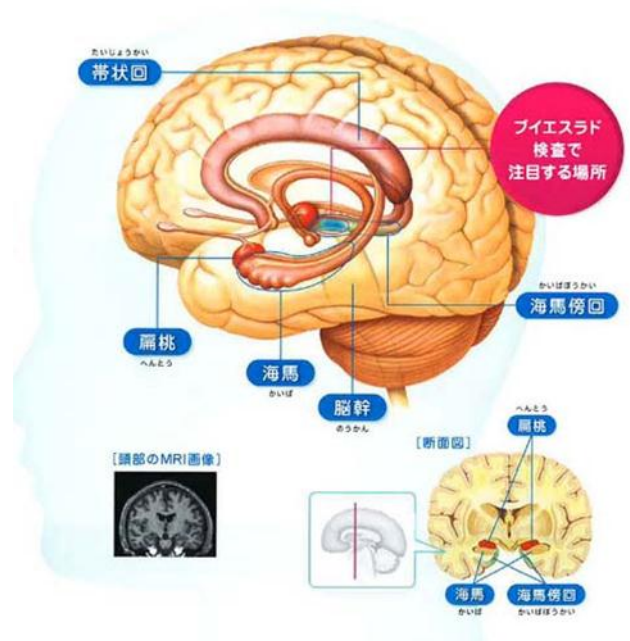
VSRAD は、頭部 MRI 画像から脳の委縮の度合いを、色と数値で評価するものです。

注意

- 検査対象は 50 歳以上の方になります。
- VSRAD の結果だけで認知症の診断がされるのではなく、あくまで神経心理学的検査などと統合して行われます。

《このような方にお勧めします》

- 「物忘れ」が気になる方



※MRI 検査は、ペースメーカー装着者や体内に埋め込み金属があるなど、検査できない条件があります。

《お申込み・ご予約》

お問合せ先：因島総合病院 人間ドック担当

TEL:(0845)22-2550

↓ホームページはコチラ！！

<http://innoshima-hospital.jp/>

QR コード

